



人ある限り人権を

やまびこ人権文化センターだより

2026

4

発行 やまびこ人権文化センター 倉吉市中河原 772-6 TEL/FAX 0858-28-4265

やまびこ人権文化センター

令和8年度の主な取組



人権啓発

人権問題講演会
町内学習会などの学習支援
センターだより発行 など

地域交流

やまびこサロン・デイ
小・中学校地区学習会
やまびこ映画館

相談対応

関係機関との調整や助言
戸別訪問

地域福祉

介護予防教室や健康教室
生活課題解決に向けた各種講座

4月 やまびこサロン ゆる～り茶話会

日 西鴨 4月9日(木)、天神野 4月16日(木)、中河原二 4月23日(木)

時 午前10時～12時(サロン終了後にデイを開催します)

今年度のサロンではどんなことをやってみましょうか?ゆるりとお話ししましょう。



健康チェックと新ゲームを体験!

やまびこサロンでは、明倫・小鴨地域包括支援センターによる健康チェックと、フレイル予防やセルフチェックのお話を聞き、高齢者も楽しめるゲーム「バグゴ」で楽しい時間を過ごしました。



小鴨小学校地区学習会の運営協議会を開催

3月3日(火)、小学校地区学習会の運営協議会を開催しました。令和7年度の振り返りを行い、「交流や体験、自然観察などの学習メニューを取り入れてはどうか」など、令和8年度の学習会の充実に向けた意見が出されました。



高齢者世帯に

エアコン購入費が補助されます

物価高騰等の影響を受け、経済的な理由により自宅に家庭用エアコンを設置していない高齢者世帯に対して、熱中症の発症を予防し、安全で安心な生活を支援することを目的にエアコン購入費の助成が実施されます。

□補助金額：上限5万円(エアコン本体代+工事代)

□対象：以下の①～③すべてに当てはまる世帯

①市内に住所を有する65歳以上の者のみで構成される世帯

②住民税非課税または均等割のみ課税世帯

③自宅に使用できる家庭用エアコンがない世帯

□申請期間：9月30日(水)まで

問 倉吉市長寿社会課 ☎0858-22-7851



困りごとや人権侵害ひとりで悩まないで 人権文化センターは身近な相談窓口です

人権文化センターはこどもから高齢者までのさまざまな人権問題や生活の困りごとについての相談に応じています。市の窓口や関係機関の紹介など対応していますので、気軽にご相談ください。差別落書き・差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課(☎22-8130)または、やまびこ人権文化センター(☎28-4265)にご連絡ください。




自分らしく生きる 多様性が尊重される社会を目指して

最近、多様性（ダイバーシティ）という言葉をよく耳にしますが、あなたはどんなイメージを持っていますか。私たちの暮らす社会は、性別や国籍、年齢、障がいの有無、価値観などが異なった人で構成されています。今回は、なぜ多様性を尊重する社会が大事なのかについて考えてみたいと思います。

詩人 金子みすゞの詩から

昭和初期に活躍した詩人 金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」という有名な詩があります。この詩は、百年という時を超えた今でも、多様性を尊重する言葉として心に刻まれています。



「私と小鳥と鈴と」

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面じべたを速くは走れない。
私がからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

最後の言葉「みんなちがってみんないい」は大事な意味を持っています。「あなたはあなたでいい」と存在そのものが素晴らしい、それぞれに役割と価値があると話しかけているようです。

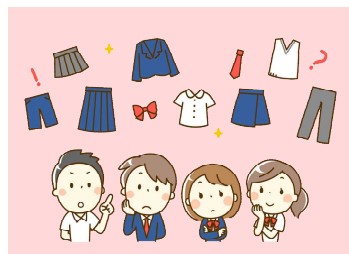
多様性が尊重される社会のメリット

例えば、多様な人がいればいるほど意見も多くなり、お互いが通じ合うための労力や時間はかかります。しかし、お互いの多様性が尊重される社会では、次のようなメリットが考えられます。

- 多様な人がいると「そんな考えや発想はなかった」と別の見方が生まれる。
- 「誰かの得意」が組み合わせることで、組織や地域社会に大きなメリットになる。
- 「普通」や「当たり前」と決めつけないことで、生きづらさを感じる人が減り、安心することができる。
- 周りに違う人がいるからこそ、「自分は自分でいい」と自分を肯定できるようになる。

本市の取り組み 4月からジェンダーレス制服に

市内の中学校では、性別に関わらない制服「ジェンダーレス制服」の導入が新1年生から始まりました。市内5つの中学校の統一された制服は、上着がブレザーに変わり、スラックスとスカート、リボンやネクタイを性別問わずに選択できるようになります。「性別で制服が決まる」のではなく、「自分の好きなスタイルが選べる」ようになり、多様な中学生が自分らしく学校生活を送ることができます。



多様性が尊重される社会に向けて

多様性が尊重される社会は「言うは易く行うは難し」です。ありのままを認め合う社会は、お互いの人権が尊重されることがベースとなり、一朝一夕に実現するものではありません。

しかし、私たち一人ひとりが、地域や職場など日常生活の中で、違いを理由に攻撃や排除をせず、「ありのままを受け入れる」「誰かの人権を傷つけていないか」と考え行動することが、多様性に向き合い、自分や社会の多様性について考えるきっかけになるのではないのでしょうか。